# 情報くまもとBOX

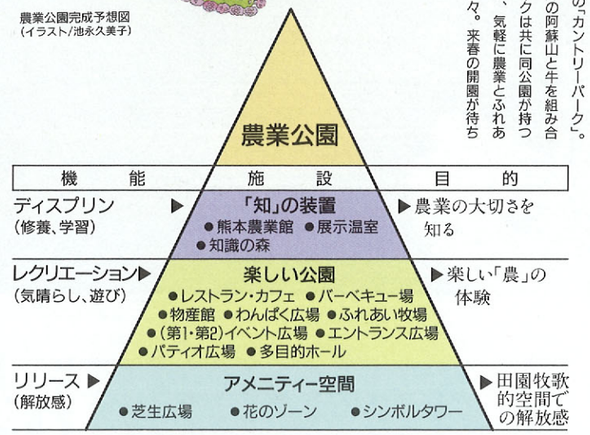
## 名称は「カントリーパーク」

### 緑の台地に農業公園が急ピッチで建設中。

菊池郡合志町の一角、124ヘクタールもの広々とした緑の台地に昨年4月、農業研究センターがオープンしたことは皆さん既にご承知のことと思います。その敷地内では現在、広く一般県民に農業と親しんでもらう、遊びながら学んでもらうことを目的に農業公園の建設が急ピッチで進行中。来春の開園を目指しています。ここには、①一般県民の農業理解の場の創出、②自然・緑に親しむ公園の整備、③農業の情報発信基地の創出という三つの基本理念のもと、熊本農業館をはじめ物産館やレストラン・カフェ、バーベキュー場、花のゾーン、わんぱく広場、イベント広場など数々の施設を整備していきます。なお十一月には、乳牛の資質向上と酪農業の定着を図ることを目的に、第九回全日本ホルスタイン共進会をメインイベントとした 90ファームフェスタの開催が予定されるなど、早くも話題を振りまいています。

一方、同公園の完成を前に一般公募していた愛称とシンボルマークが決まりました。愛称は北海道網走市の会社員本間田則さん応募の「カントリーパーク」。シンボルマークは東京都足立区の図案家小柳陽一郎さんの阿蘇山と牛を組み合わせた作品が採用されました。この愛称とシンボルマークは共に同公園が持つたおやかな緑という牧歌的イメージ、そして人々が憩い、気軽に農業とふれあえる楽しいイメージがうまく表現されていると評判も上々。来春の開園が待ち遠しい気分です。

農業公園完成予想図
(イラスト/池永久美子)



阿蘇山と牛を組み合わせたユニークなシンボルマーク

## パワーアップ図るくまもとの米づくり。

お米は日本人の主食、毎日口にするものだからおいしいものを手に入れたい。このような消費者の声を反映して県産米改善に対する気運が今までにない盛り上がりを見せています。このような動きに対応して本県は、「ヒノヒカリ」などの新品種については本格的な普及を図り、栽培技術が定着してきた「コシヒカリ」などの銘柄米については生産を拡大していくなど積極的な取り組みを行っています。

これと併せて※有機減農薬米の栽培を進めるとともにピラフ、チャーハン等の冷凍米飯用の原料米である「ホシユタカ」の生産を全国に先がけて開始しております。また、適地適作の徹底が進められる中で、本年は特に一等米の確保を目指した体制も確立させていきます。

このように、県産米の品質改善が図られると同時にイメージアップ作戦も展開中です。昨年「熊本はなしのぶ、三度のときめき」の統一ブランドでヒノヒカリの販売を開始したことをきっかけに、今年も例えば「西海一八六号」の愛称募集や県産米PRのためのテレビCM等を行うなど、県内外の消費者を対象とした活動を展開します。

品質、価格の両面から厳しさを増す産地間競争に打ち勝つために熊本の米づくりはパワーアップ中です。

品種別に見る熊本のうまい米づくり

| 品種名 | | 昭和63年 | 平成元年 | 平成2年 | 平成3年 |
|---|---|---|---|---|---|
| 新品種 | ヒノヒカリ | 試作 5 | 1,080 | 7,700 | 8,800 |
| | ヒゴノハナ | 試作 4 | 650 | 11,600 | 8,000 |
| | 西海 186号 | — | 試作 1 | 500 | 8,400 |
| | ホシユタカ | — | 試作 2 | 130 | 200 |
| 銘柄米 | コシヒカリ | 3,860 | 5,540 | 7,200 | 8,300 |
| | ミネアサヒ | 3,980 | 4,960 | 1,800 | 1,800 |
| | 旭 1 号 | 310 | 730 | 1,100 | 1,100 |
| 既存品種 | 日本晴 | 5,690 | 5,150 | 5,300 | 5,100 |
| | ミナミニシキ | 27,370 | 7,320 | 1,600 | 500 |
| | シンレイ | 2,290 | 11,870 | 3,800 | 0 |
| | レイホウ | 1,020 | 6,200 | 2,600 | 1,300 |
| 試作品種 | キヌヒカリ | — | 試作 9 | 1,500 | 3,000 |
| | 玉系74号 | — | — | 試作 1 | |
| | 西南89号 | — | — | 試作 1 | |
| モチ | | 2,190 | 2,440 | 2,190 | 2,190 |
| その他 | | 6,880 | 6,850 | 6,580 | 4,910 |
| 合計 | | 53,600 | 52,800 | 53,600 | 53,600 |

※有機減農薬米　病害虫の発生が少なく、しかも有機資材に恵まれた高冷地等で農薬、化学肥料を減らして栽培されるお米のこと。



FROM KOREA

姜信子の韓国通信

REPORT
by
Mrs.NOBUKO KYO

韓国の伝統的家屋「両班」の家

## 儒教と儒学の違い

# 유교와유학의차이

(ユ ギョ ワ ユ ハク ウィ チャ イ)

韓国にあるのは儒教で、日本のは儒学だ。儒教が生活そのものに深く根をおろしている韓国に比べたら、日本は学問として受け入れた程度に過ぎない。確か作家の司馬遼太郎氏がそう書いていたが、私も全く同感だ。

韓国に来てはや一年。その間、近所のアジュマ（奥さん）達に言われ続けたのが、「男の子を産みなさい。いなきゃ困るでしょ」という言葉だった。また、男の子のいないアジュマ達は、どうすれば男の子を産めるか、あらゆる情報を交換しあっていた。

なかでも情報交換に熱心だったチュファオンマ[注]がとうとう妊娠した。チュファオンマは三十八才。既にチュファを含めて四人の娘がいる。ご主人は一族の本家のひとり息子だ。それで何より困るのが、チュファオンマに息子がいないことだ。息子がないと、チェサ（先祖の法要）を主催する人間がいなくなる。

儒教社会韓国では「家」と「祖先」が何よりも大切で、チェサは家そのものの存立に関わる重要な行事だ。それには主催者としての家長たる男子がいなくてはならない。「養子じゃ、だめなんですか。」私が尋ねると、首を横に振る。「血のつながりがないじゃない」と。日本ではシステムとして家が存続していけばいいようなところがあるが、韓国はあくまでも父系の血のつながりなのである。

なにしろ、ここには族譜という連綿と続いた父系の一族の血のつながりを記した家系図がたいていの家にある。これは儒教的思考をそのまま写し取った図とまで言われているものだ。チェサの時には一族みんなが集まって、それを広げ、新羅時代の御先祖の偉業を讃え偲ぶというようなことが普通に行われている。この族譜は自分の代で途絶えさせてはならないものでもある。それゆえ、ご主人の母親は毎日のように、「男の子を産んでおくれ。そうしないと家が途絶えてしまう。産んでくれたら、田舎の土地を全部あげるから」とまで言って、涙を流していたという。

しかし、妊娠はしたものの、男の子か女の子かは分からない。性別を調べて妊産婦に教えることは法で禁止されているのである。

これは男女の人口比率が歪み始めたためにとられた措置だ。一九八八年の出生児の男女比率は百十三対百。WHOによれば世界的には百二・五対百が平均的な値である。さらには、男の子目的で妊娠する第三子、第四子になると、例えばテグ[注]では男女比がそれぞれ三百五対百、五百八十二対百などという数字が出ている。

それで、チュファオンマはどうしたかというと、妊産婦達みんながそうするように、医者が発するヒントをちりばめた言葉を注意深く聞いて、自分の勘を頼りにおなかの中の子供の性別を判断した。

予定では七月七日に男の子誕生のはずだ。

注1. チュファオンマ(チュファのお母さん)
注2. テグ(大邱)(都市の名)


姜信子さん

フリーライター。ノンフィクション「ごく普通の在日韓国人」で朝日ジャーナル賞受賞。
熊本と韓国の交流推進のため、韓国・忠清南道庁に県職員として初めて派遣された夫とともに昨年5月下旬に渡韓。

大田市内の風景

大田市内の風景